

# 由布川っ子



由布市立由布川小学校  
学校通信 第20号  
令和5年8月14日(月)  
文責 校長 森次 晃

校内環境の変化 (いろいろ変わってきています)

8月の夏休み中に、学校の中で大きく2つのことが変わりました。  
1つ目は、防球ネットの工事です。実は運動場の南側には以前から防球ネットがありましたが、高さが低く、子どもが蹴ったボールが、下の県道まで転がって出てしまうことがありあました。今回かなり高いところまで、防球ネットを広げる工事をしていただきました。



もう一つは、桜の木などの剪定です。校舎裏の桜の木が校舎までかかっていたので、上のほうまで切っていただきました。かなりすっきりしました。



毎年、少しずつ環境をよくしていこうと思っておりますが、その分老朽化もすすみ、最近では修理・補修にお金がかかることが多いです。今後できれば、子どもたちが切望している遊具を設置できればと思っておりますが、遊具も案外高いので、非常に頭が痛いところです。

夏休み元気に過ごしていますか？

子どもたちは、元気に過ごしているでしょうか？ 昨今熱中症の心配もあり、昼間遊ぶのは危険な気もします。そうなるとどうしても家の中で過ごすことになりますね。  
子どもたちが、安心して思い切り体を動かせる環境があるといいのと思います。

アフリカンサファリの神田園長の話

少し前に、アフリカンサファリの園長(獣医さん)の神田さんの話を聞く機会がありました。とても楽しく・ホロっと来る話を聞けました。一番面白かったのは、イケメンの象の話です。あまり詳しくはかけないのですが、人間も象もおなじだな~としみじみ思いました。動物の世界も面白いですね。